

# 松浜軒／松井文庫の至宝

緑茶は、日本人にとって馴染みの深い飲み物。その喫茶法は時代と共に大きく変化しています。鎌倉時代に中国から伝えられた「抹茶」は、千利休によって「わび茶」の美学へと昇華し、大名や武士の間で流行しました。

急須で入れる煎茶もまた中国を起源とします。これがいつ伝えられたのかは不明ですが、江戸時代の中頃、もと黄檗宗の僧だった売茶翁（1675～1763年）は、煎茶を風流な趣味芸道へと高め、いわゆる「煎茶道」の基礎を築きました。煎茶道は、抹茶を喫する「茶の湯」に対抗するかのごとく、文人趣味の人々や知識人へと広ま



いろえさんすいもんせんさんびん  
色絵山水文仙箋瓶

景德鎮窯・中国明時代（十七世紀）  
煎茶を飲むための大切な水を入れる器。長い注ぎ口や把手は、西アジアの金属器にルーツがあるとされています。

# 「煎茶を味わう」

幕末から明治にかけて大流行しました。

松井家には、貴重な煎茶道具が伝えられています。煎茶道の流行が武士にも浸透していた証です。触れたら割れそうなほど薄く作られた万古焼の急須。白土と象嵌の魅力を最大限に生かした八代焼の茶碗。あでやかな色絵が目を引き景徳鎮の水注（水差し）など。渋いわび茶の道具とは異なる、優雅で華やかな煎茶道具の世界をご堪能ください。

※日本における仏教の宗派であり、臨済宗や曹洞宗に次ぐ禅宗の一派である。  
（博物館学芸員 石原浩）

## 【展示案内】

### 企画展

「煎茶の道具、飲食の器、

妙見宮祭礼絵巻」

会期 開催中～翌年1月11日(月)

午前9時～午後5時

※入園は午後4時30分まで

閉園日 毎週月曜日（祝日の場合はその翌日、年末年始）

観覧料 一般 500円

小中学生 250円

問合せ 松浜軒／松井文庫

☎330171

平成27年度  
10月25日(日)  
11月20日(金)

# 紅葉祭

### 交通規制図

11月3日・8日・15日  
(文化の日)  
規制時間 9:00～16:00  
※規制時間は交通状況により前後します。  
→ 一方通行区間    車両進入禁止標識  
A～P 分岐点記号(現地看板とリンクしています)

**危険防止のため昼間もライトを点灯しましょう!**

期間内の日曜・祭日は特に混雑しますので、早めにおでかけください。  
何か分からない点がありましたら早目に、係員や交通指導員等にお尋ねください。

**坂道・カーブに注意!**

**五家荘を、紅葉をもっと楽しむ! おすすめドライブ順路**

コース① 氷川町宮原経由  
氷川町宮原 1.4km → 和小路 4.4km → 泉支所 4.5km → 河合場 12km → 笹越峠 4.4km → せんだん轟 9.6km → 椎原 4.7km → 吐合 6km → 縦木吊橋 11m → 八八重 3km → 平家の里 5km → 下屋敷 10km → 二本杉 8.5km → 河合場 10km → 和小路 13.2km

コース② 美里町紙用経由  
美里町 15km → 二本杉 1km → 赤石 2.9km → 西の岩 5km → ヨケト橋 1.2km → せんだん轟 13.2km → 椎原 4.7km → 吐合 6km → 縦木吊橋 11m → 八八重 3km → 平家の里 5km → 下屋敷 10km → 二本杉 8.5km

コース③ 五木・人吉経由  
下鶴 1km → 第二清水橋 4.5km → 椎原 4.7km → 吐合 6km → 縦木吊橋 11m → 八八重 3km → 平家の里 5km → 下屋敷 10km → 赤石 7.9km → ヨケト橋 1.2km → せんだん轟 9.6km → 椎原 4.5km → 下鶴 5km

至 秘鏡ルート高輪堰椎原村

至 大規模林道 五木村方面

至 五木村役場 人吉I.C.(下鶴まで45km)

問合せ 泉支所地域振興課 ☎67-2111